

2011/12月期第1四半期決算

証券コード3064

株式会社MonotaRO



2011年4月28日

www.monotaro.com



0. 震災への対応

0-1. 震災への緊急対応

1. 施設・人員の無事確認
2. 通常オペレーションの起動
3. 欠品が予想される商品に対する緊急対応
4. 当社従業員・取引先よりの現金・物資の寄付
5. ボランティア・節電などの協力
6. 商品配達体制の再構築
 - 3/11より北海道・茨城・東北以外の地域向けの発送開始(通常起動)
 - 3/17より一部配送会社営業店受取サービスを含む全域へのサービス再開
7. BtoCサイトサービスを2週間停止
8. 海外仕入商品の手当て

0-2. 震災への戦略的対応

◆与件の変化

- ・通常MRO商品の需要減退
- ・災害対応商品と復興商品の需要急増
- ・BtoC需要の取り込みが必要に

◆新与件への戦略的対応

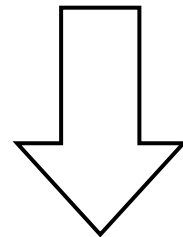
1. 震災当日から5日間に6億5000万円の在庫発注を行った
電池・電線・LED関連商品・ブルーシート・土嚢袋などは通常需要の2～5年分を発注
2. 被災地工場生産MRO商品の海外市場在庫からの調達
3. PSENサイトを立ち上げ被災地のBtoC需要に対応
※PSEN・・・Product Shipped by Emergency Network
4. 仙台地区に2,500坪の物流センターを新設
※大阪市住之江区に設置しておりました物流センターは尼崎物流センターを増床することで吸収し、閉鎖しました。

5/26以降の当社物流センターの状況

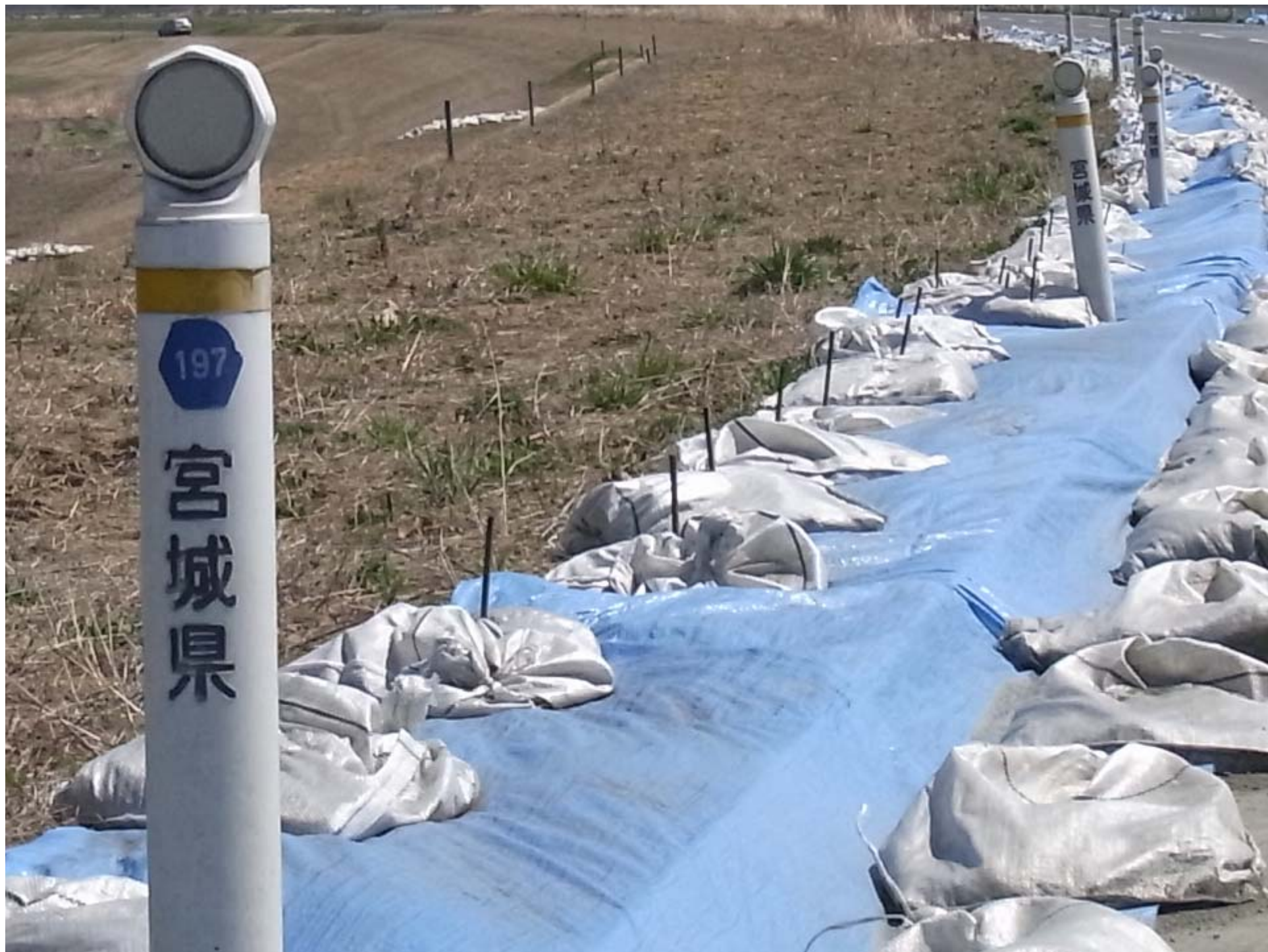
尼崎物流センター 8,500坪 仙台物流センター 2,500坪 計11,000坪

0-3. 災害時の当社の役割

- 店舗網が寸断された時は**通信販売の社会的役割**が高まる
- 必要な商品**をリスクをとって**海外から**安く、早く輸入・販売できる
- 変化**する状況に**素早く対応**できる



今回の災害を機に、社会にとって必要なインフラの一環として認識いただけるよう災害への復興に全力を尽くして参ります。











1. 会社概要

1-1. 会社概要

■ 主な事業内容

インターネット等を利用した工場・工事用間接資材、自動車アフターマーケット商品の通信販売
(商品点数：120万点以上・うち4万9千点が在庫商品)

■ 販売商品の特徴

種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要

■ 主な競合

訪問工具商・金物屋・自動車部品商等

■ 主な顧客層

製造業・工事業・自動車整備業等(中小企業が中心顧客)

■ 市場規模

5～10兆円

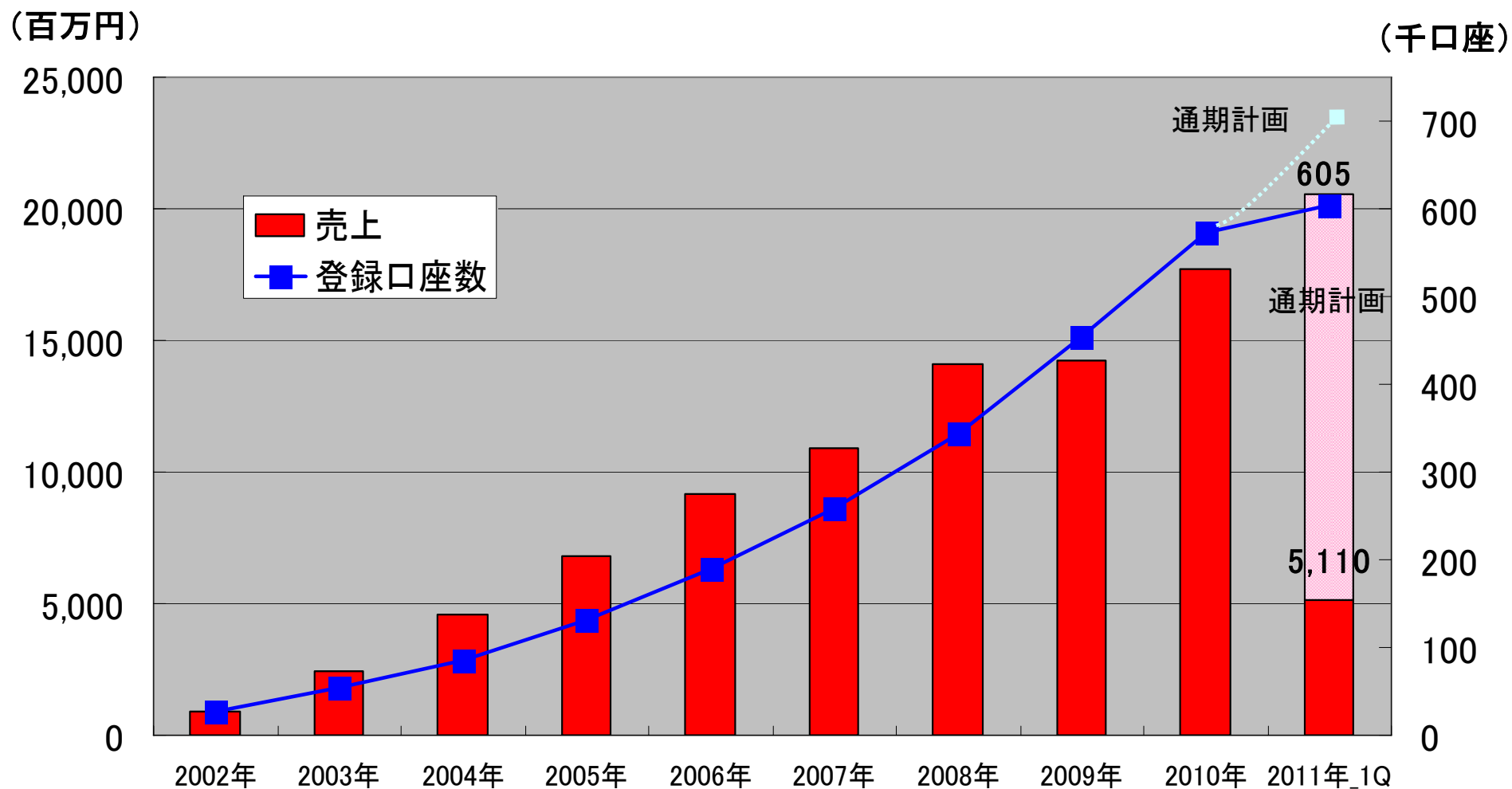
■ 経営戦略

- (1) インターネットを利用した通信販売で規模の経済を実現し、幅広い商材と高い検索性で差別化を図る。
- (2) 累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客の囲い込みを図る。
- (3) 自社にてのソフト開発からコンテンツ制作までを行うことで高い生産性をあげる。

■ 課題

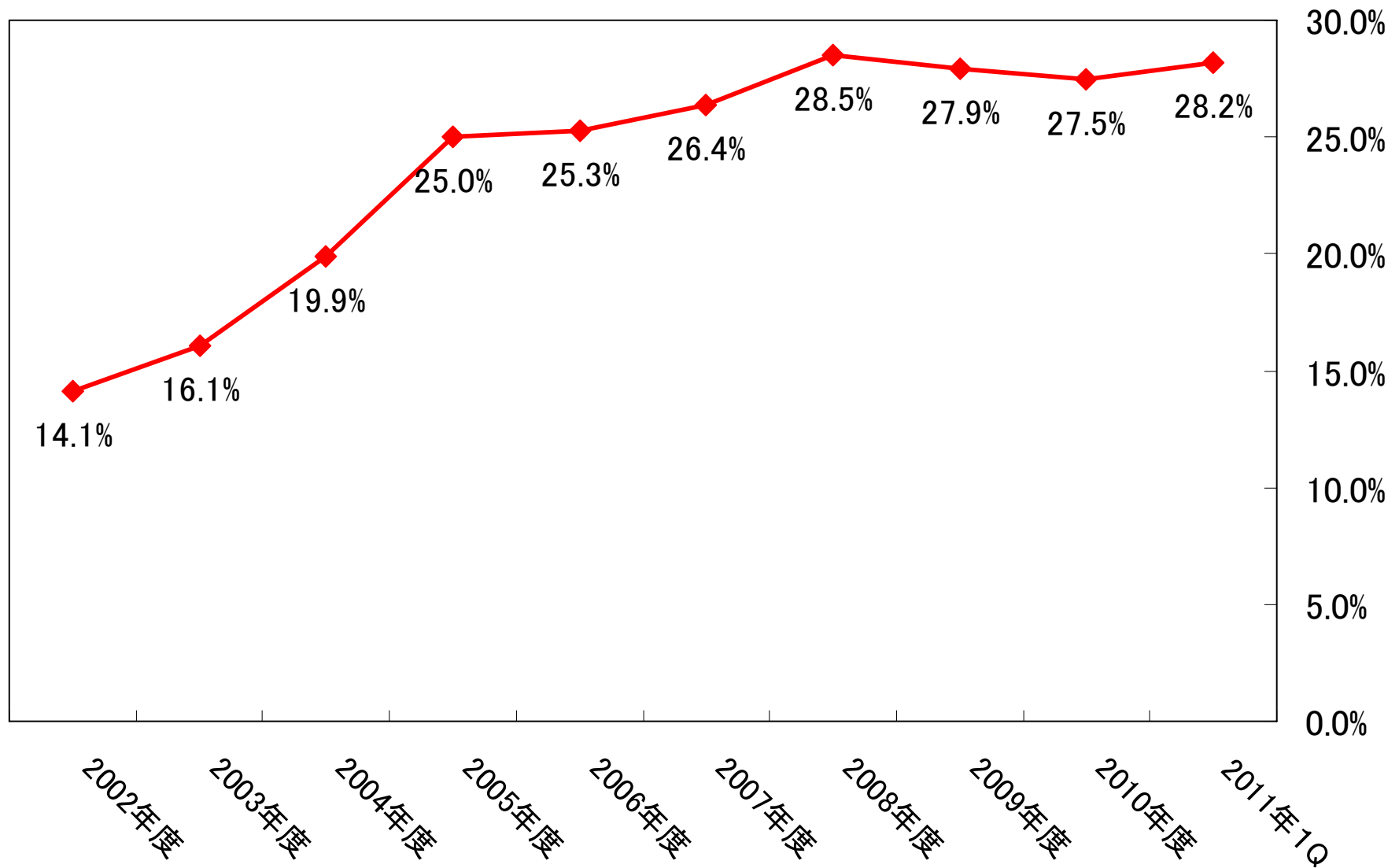
顧客にとって興味の少ない市場で知名度をあげ、市場に浸透すること。
成長にあわせたインフラストラクチャーを構築すること。

1-2. 売上高と顧客数の推移

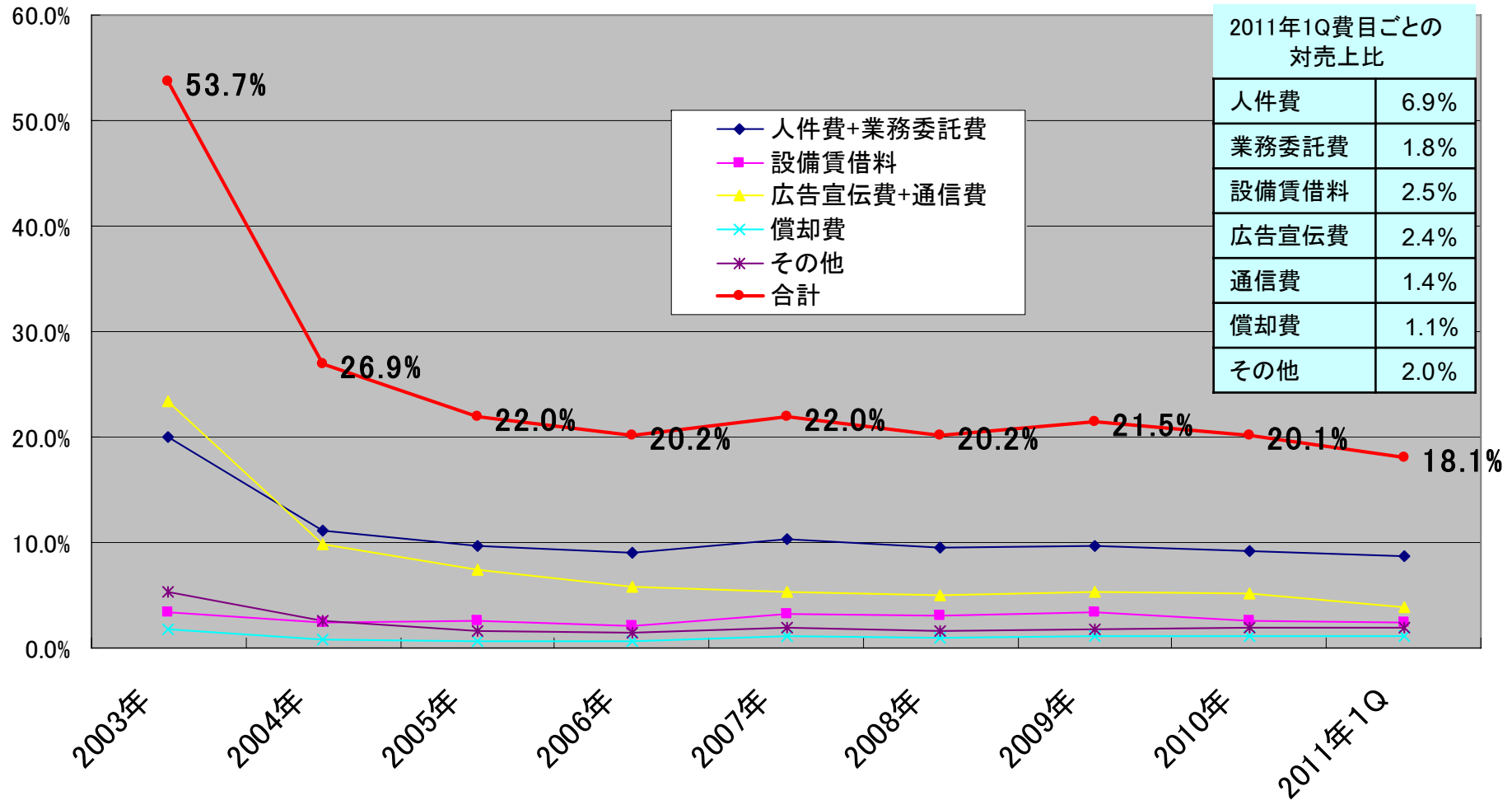


2010年12月 口座数 572,132 ⇒ 2011年3月 口座数 605,163 (純増数33,031)

1-3 売上総利益率の推移



1-4. 販売管理費率(対売上比)の推移



2. 2011 第1四半期決算の概要

2-1. 2011年第1四半期決算の概要

◆売上高 5,110百万円（前年同期比25.1%増）

新規顧客獲得による増加に加え、既存顧客の注文頻度、注文単価も改善した。

当四半期の平均注文単価は9,800円（前年同期は9,500円）。

震災以降、通常の操業関連消耗品への注文が減少し、災害対策・復旧関連への注文が急増した。

◆売上総利益 1,440百万円（前年同期比28.2%増）

輸入品が多い災害対策・復旧関連商品への注文が増え、輸入品の売上比率が0.4%増加し前期比、予想比をともに上回る売上総利益率となった。

◆販売管理費 922百万円（前年同期比11.1%増）

前年同期に発生した一時的な費用の解消、売上高の増加もあり、

販管費率は、前年同期より2.2ポイント改善した。

◆営業利益 517百万円（前年同期比76.4%増）

上記により営業利益は売上比が10.1%となり、前年同期比76.4%の増加となった。

2-2. 2011第1四半期損益計算書サマリー

(百万円)	2010_1Q		2011_1Q			
	金額	売上比 (%)	金額	売上比(%)	前年比(%)	第2四半期累計予想 に対する進捗(%)
売上高	4,083		5,110		+25.1	51.4
売上総利益	1,123	27.5	1,440	28.2	+28.2	52.5
販売管理費	830	20.3	922	18.1	+11.1	47.8
営業利益	293	7.2	517	10.1	+76.4	63.6
経常利益	295	7.2	523	10.3	+77.2	64.9
四半期期純利益	168	4.1	286	5.6	+70.0	64.0

2-3. 貸借対照表サマリー

		2010年 3月	2010年 12月	2011年3月	
				(百万円)	構成比
資産の部					%
流動資産	現預金	1,007	1,240	1,001	14.8
	受手および売掛金	1,894	2,230	2,380	35.2
	棚卸資産	1,392	1,699	1,794	26.5
	その他	578	671	660	9.8
流動資産合計		4,871	5,841	5,835	86.2
固定資産	有形固定資産	166	162	189	2.8
	無形固定資産	478	530	545	8.1
	投資その他資産	177	189	198	2.9
固定資産合計		822	882	933	13.8
資産合計		5,693	6,723	6,769	100

		2010年 3月	2010年 12月	2011年3月	
				(百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	1,516	1,534	1,779	26.3
	短期借入金	800	800	800	11.8
	その他	539	1105	714	10.6
流動負債合計		2,855	3,439	3,293	48.7
固定負債		6,839	27	32	0.5
負債合計		2,862	3,467	3,325	49.1
純資産の部					
株主資本合計		2,818	3,227	3,408	50.4
新株予約権		12	29	34	0.5
純資産合計		2,830	3,256	3,443	50.9
負債・純資産合計		5,693	6,723	6,769	100

2-4. キャッシュフローサマリー

区分	2010年第1四半期 (百万円)	2011年第1四半期 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	295	496
売上債権の増減額	△209	△149
棚卸資産の増減額	△70	△95
仕入債務の増減額	52	249
その他	△354	△543
計	△286	△41
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
計	△49	△99
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
計	△188	△98
IV 現金及び現金同等物の増減額	△524	△239
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,532	1,240
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,007	1,001

3. 2011/12期 事業計画

3-1. 2011/12期 事業計画

(百万円)	10/12期		11/12期 計画		
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	増減率
売上高	17,685	100%	20,548	100%	16.2%
売上総利益	4,869	27.5%	5,671	27.6%	16.5%
販売管理費	3,561	20.1%	4,060	19.8%	14.0%
営業利益	1,307	7.4%	1,611	7.8%	23.3%
経常利益	1,325	7.5%	1,604	7.8%	21.1%
当期純利益	752	4.3%	900	4.4%	19.7%

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



お問合せ先

管理部 山崎

Tel:06-4869-7111

Fax:06-4869-7178

Email: yamazaki@monotaro.com